

# JA自己改革推進レポートについて

令和5年9月26日  
JA鳥取県中央会

## 1. JA自己改革実践状況

### (1) JA鳥取いなばの取り組み

#### ①令和5年度「鳥取砂丘らっきょう」販売反省会

JA鳥取いなばと福部らっきょう生産組合などは8月1日、令和5年度ふくべ「鳥取砂丘らっきょう」販売反省会を鳥取市のホテルモナーク鳥取で開いた。

生産者や市場16社、JA関係者ら約40人が出席。ラッキョウの生育が順調に推移したことや安定的な計画出荷に努めた結果、出荷量は1527ト(前年度比32%増)、販売額は約8億980万円(同10%増)で昨年度を上回ったことなど販売実績を報告した。



#### ②令和5年度いなば柿「輝太郎」振興大会

JA鳥取いなばと県は8月5日、鳥取市の同JA本店で令和5年度の柿「輝太郎」の振興大会を開いた。生産者や県、JAなど約40人が参加。生産者を増やすことで一層のブランド化を図り、高単価販売の実現を訴えた。振興大会では、新たに「輝太郎」を栽培する仲間を増やしていくことを目的に、栽培のポイントについて講演が行われた他、さまざまな事例発表を通じて理解を深めた。



#### ③「しゃんしゃん祭」に参加 色鮮やかな傘の華

JA鳥取いなばは8月14日、鳥取市の中心市街地で行われた「第59回鳥取しゃんしゃん祭」の一斉傘踊りに参加した。本店や各支店の職員有志44人が色鮮やかな傘の花を咲かせ、一糸乱れぬ華麗な踊りで会場を沸かせた。

同JAは、2015年から地域活性化の一環として参加している。



以上